

あいあいあい

I eye 愛

2019年
4月号



紙製「宝箱」でお届けします

理事 鈴木真奈美

あいコープ組合員にとって、「花たまご」や「平飼いこめたまご」は大切な存在です。毎日の食卓に欠かせない食材の中でも卵は代表的なものではないでしょうか。国産の飼料をついばみ、薬で汚されずに大切に育てられた鶏とその卵は、あいコープにとって宝物であり、多くの組合員に愛されています。

その「宝物」を壊れぬように包んでいるパック。あいコープは環境に配慮し「非塩ビPET」を選択していましたが、それでも「プラスチック」のハードルを越えられませんでした。

しかし、こうして使い続けるプラスチック製品はマイクロプラスチック（※）となって生物の体内に取り込まれ、巡り巡って私たちに跳ね返ってきています。

この4月、あいコープは遂に卵のプラスチックパックを廃止し、紙製に変更しました。組合員が年間に排出するプラスチックのうち7.4トンの削減効果があると同時に、回収したパックが100%卵パックになつて戻ってくる、完全なりサイクルを実現します。環境問題に心を痛め、

それを学習し、発信する、そして最終段階として【実行する】。今回の変更は小さな取り組みではありますが、まずは出来ることをやってみる、あいコープはいつも、ここから始めています。

かつては木箱の中でおがくずに埋もれて輸送された卵。時代は変わり、安価で手軽なプラスチックパックはあつという間に広がりを見せました。それなのに、本当に卵に優しいのは通気性があり温度変化に強い紙製パックだということです。自然の摂理に合ったパックに包まれば、卵も幸せに違いありません。

今春、様々なものが値上がりし家計を圧迫しています。卵も例外ではなく、そこにパック変更による値上げが加わるのは複雑ではあります。環境にも、卵にも、私たち組合員にも、価格以上の価値があることを確信しています。新しい紙製パックは、あいコープの宝物である美味しい卵を大切に包むのに相応しい、宝箱です。

※マイクロプラスチック：海洋に漂う直径5ミリ以下の微細なプラスチック。プラスチックゴミが劣化して微細化したものなどで、海洋生物が誤食するなど悪影響を与えている。

CONTENTS

▶ ウェルカムパーティ報告 … 2	▶ 組合員交流会報告 … 4-5	▶ 共生会総会報告 … 7
▶ 「オーガニックへの挑戦」生産者発表会報告 … 3	▶ 県民投票条例制定のゆくえ … 6	▶ 生産者さんにあいに行こう！わ・は・わ大衝の巻 … 8



『何を買う？何が美味しい？』 楽しいお茶っこ飲み会になりました

1 / 30 ウェルカムパーティ in 古川開催♪



まんま通信を囲んで、話が尽きません

今回のパーティ開催で、少人数でわきあいあいと試食を楽しみながらおしゃべりができる、こんな場がみんなに求められている！と改めて感じました。

理事のほうからは、加入時にもらえる利用ガイドブックと、まんま通信を見ながら、上手なお買い物のヒントをレクチャー。

加入間もない組合員さんに、あいこプの上手な利用方法のお知らせや、情報交換の場を提供するウェルカムパーティ。来年度の本格始動の前に、古川にてプレ企画を開催しました！

配送エリアでありながらもこれまで大崎地域での組合員活動の企画開催がなく、この日集まった参加者からは「待ってました！」の声。班での利用よりも個人宅配での利用が多い最近では、組合員同士の横のつながりを創りにくく、せつかく加入してもどの商品を買ったらいいのか、何が美味しいのかわからず、お得な利用方法も知らないまま…という状況があります。

参加者からは、商品についての質問や、希望する企画、活動に使えそうな古川近辺の会場情報などをお寄せいただき、今後の活動のヒントをいただけた、有意義な「お茶っこのみ会」となりました。ランカスターのお茶など、数種類の飲み比べが出来る「あいこプのドリンクバーコーナー」も好評でした♪

新規加入の組合員さんと呼びかけるウェルカムパーティは今後も各地域で開催を予定しています。お近くでのパーティの案内が届いた時には、ぜひ足をお運びくださいませ。

理事 辻朗子

世界各地で広がる 「遺伝子組み換えいらない」の輪！

3 / 2 GMOフリーゾーン集会参加

3月2日(土)、3日(日)に千葉県成田市で『第14回GMOフリーゾーン全国交流集会』が開かれ、あいこプみやぎからは理事5名が参加してきました。集会には全国各地から、また、韓国や台湾など世界からもたくさんの方が参加があり、遺伝子組み換えに対する問題の大きさを感じました。

初めに、遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーンの天笠啓祐氏による「ゲノム編集食品、私たちはモルモット？」という基調講演が行われ、新たに登場したゲノム編集を食品に適用することのリスクや問題点を学びました。私たちが普段食べている食べ物の問題なのに、多くの消費



成田市の有機栽培生産者の圃場に掲げられている看板

者が知らないまま、そして規制もなく安全審査もありません、国は市場に流通させようとしています。

集会では千葉県成田市の地域密着型農業や化学合成農薬に頼らない有機農業の取り組みを聞くことができました。また、全国の様々な生協や世界各地の遺伝子組み換え作物の汚染調査や学校給食での遺伝子組み換え食材使用禁止の取り組みの報告もありました。

お話を通して、全国各地の地道な活動で私たちの食生活を守ることができると確信することができました。各団体と協力しながら、私たちが望む食べ物を私たち一人一人の活動で守っていきたいと思います。

理事 原子良恵



交流集会には350人余りが参加
2020年は滋賀で開催予定

40周年
生産者が語る
いっしょに歩んだ40年
第二回

40周年を迎えるあいコープには、一緒に歩んできた生産者がたくさんいます。10回にわたり、そんな生産者の皆さんのお話をご紹介します。



花兒園/大須賀木さん

P H F ※、非遺伝子組み換えの飼料に加え、米粉を与えるなど飼料自給率UPにも貢献しています

私はもともと、大手食品会社

で、家畜飼料の配合を担当していました。でも、その飼料には抗生物質などの薬をたくさん入れるんですね。それに違和感を抱いている時に、生協と出会いました。それ以来、『完全無薬飼育』『P H F の飼料』『卵の電解水（強酸性水）洗浄』など、養鶏業界で初めて、もしくは花兒園だけ、という取り組みを次々に展開してきました。

それは、とにかくいいもの（可能ならば化学物質過敏症の方でも食べられる程のもの）を作りたいという想いと共に、あいコープとの付き合いがあったから踏み出せた、と言えます。そして、東日本大震災では農場の8割を失い、30億もの借金を抱えることになりましたが、ここでもあいコープをはじめ応援してくれる生協が再建させてくれ

ました。本当にありがたいです。

昔は、生協というものをちゃんと理解している組合員さんがこの生協にも多かったんです。今は、「生協という名のスーパー」的に捉えている人が多いんじゃないですかね。でも、あいコープには「特定多数」がたくさんいて、魅力ある生協です。今の時代、難しいことだとは思いますが、あいコープのこだわりや商品価値を理解している組合員を育てて、議論する生協であってください。

大須賀木
* * * * *
稲やかに語ってくださった木さん。議論する生協であれ、という言葉をしかと受け止めて参りました。息子の裕さんも「あいコープはとんがって魅力的」と言ってくださり、それぞれの想いは受け継ぐことが出来ていると実感しました。

※ P H F (ポストハーベストフリー) 収穫後の農薬散布をしていないこと

3/6 農産学習会@日立システムズホール仙台
あいコープの安心安全な農産物の秘密
～オーガニックへの挑戦～



更なる挑戦に向かって、えいえい、おー！

2014年、あいコープの農業政策、栽培基準改定に伴って誕生した農産物【※優ぶらんど】。県内の産直産地を中心に、5年をかけて様々な品目の農薬削減にチャレンジしてきました。この取り組みを振り返るとともに、2019年6月から始まる新栽培区分についての組合員向け説明会が開催されました。

開会のあいさつでは、吉武悠里常務理事より、「今、世界ではあいコープが仙台共同購入会だったところからの【産直】（生協は産直物まるごと引き受ける）の考え方が見直され、その方向にシフトしている。一方で、日本は農業や生産者を守り、安全・安心な食べ物を食べる環境とは真逆に進んでいる。日本が大規模集約化を推進する中、これからもあいコープの産直産地が持続可能な農産物の生産ができるよう、【産直】の取り組みを強化し、しっかりとサポートしていきたい。」と力強い決意表明がありました。

新栽培区分の説明後には産地報告があり、西塚忠元さん天郷みどり会

宮城からは『米の作付面積の1割以上を有機栽培にする決意』、細谷滋紀さん、佐東智之さん（七郷みづば会）宮城からは『津波被害を受けた田畑の再起と農薬不使用栽培に挑戦する決意』、片桐完一さん（児童果実同志会）山形からは『新たな病虫害発生があっても、おいしいりんごを届けるために、栽培と向き合う覚悟』をお話しいただきました。

安全安心な食材をいただくためには、私たち組合員は生産者から信頼を得なければなりません。責任を持つて商品の利用を続けなければ、生産し続けて頂くことが出来なくなります。収穫された農産物をあますことなく食べることに！ 私たちができる、あいコープの産直の在り方はこうでありたい！と思わずにはいられませんでした。

理事 太田代一世

あいコープの産直産地とは

あいコープの農産物は全て【産直産地】が栽培した農産物です。産地と取引を始める前には、必ず以下の3つ約束を産地と結びます。

- ① 生産者と栽培方法が明確
- ② 生産者と直接交渉や協議ができる
- ③ 生産者が循環や農薬削減など、地球や人にやさしいモノづくりをする意思がある

この約束に賛同してくれる産直産地としか取引はしません。

たくさんの好奇心が満たされました♪

10地区17か所で開かれた今年の組合員交流会。延べ281人の組合員が参加しました。今年1年の活動を振り返りながら、生協のしくみについても学びました。そして楽しみのお菓子作りや映画鑑賞、巻き寿司作り・・・
 たくさんの好奇心が満たされた交流会となり、あいコープ商品でできることが更に広がった1か月間となりました。新たに地区委員として活動を始めた組合員もいました。

2/21 青葉A地区
おいしくてあったかいキムチ鍋で
冬も元気に乗り切ろう！



「趙さんの味」の李さんから直接ご指導いただき、キムチ作りを体験！仕込んだキムチは持ち帰り。この日はキムチ鍋で温まりました。

2/19 太白地区
クリーニング屋さんへ聞く
石けん洗濯のコツとセーターの洗い方



石けんを使用したクリーニング店を営まれていた赤間勝広さんを講師にお迎えしました。ウール100%のブランド物のセーターを石けんで洗濯、丁寧に実演して頂きました。

2/26 若林地区
お家で簡単♪パンチェッタ作り



豚バラの塊肉で作るパンチェッタ。塩やハーブなどと一緒に冷蔵庫で1週間熟成させて完成です。参加者は1人1つの塊肉を持ち帰り、当日はあらかじめ仕込んでおいたパンチェッタでパスタやスープを味わいました。

2/15 泉A地区
せっけん使いを極める！せっけんCafe



石けんの量や温度を変えて、汚れ落ちの違いを比べる実験をしました。水での予洗い・お湯での洗濯がより汚れが落ちるとの実験結果が出ました。

2/27 太白地区
彩り飾り巻き寿司レッスン



春の行楽やひなまつりにもぴったりの、飾り巻きずしがきれいにできました！着色料を使わなくても、素材の色だけでこんなに美しい色合い♪

2/19 青葉B地区
まんま通信の商品を見て・知って食べてみよう！
スイーツ試食会



あいコープで取り扱っている様々なスイーツを食べながら、まんま通信のお気に入り商品などを楽しく語り合いました。



おいしい！楽しい！
がいっぱいだったよ！



2/14 県知事懇談会 参加報告

2月14日、江陽グランドホテルに於いて、宮城県生活協同組合連合会主催の知事懇談会が行われ、県内の加盟生協がそれぞれの取り組みを知事に報告しました。

あいコープみやぎからは4名の理事が出席し、あいコープが世界的なプラスチック汚染問題の学習を継続していることや、4月から卵のプラ包装を廃止し紙製に変更する取り組みなどを知事に報告しました。知事からは「足元の問題からしっかり取り組んでいただきたい。行政で力になれることがあれば相談を」という言葉をいただきました。



2/9・10 甲状腺エコー検査が行われました

2月9日～10日の二日間、日の出町センター会議室で行われた甲状腺エコー検査(放射能問題支援対策室いずみ主催)に協力しました。組合員を含む67家族94名が検査に訪れました。原発事故当時の影響のみならず、汚染廃棄物の焼却など放射能汚染に関する様々な不安にも、専門のカウンセラーが対応しました。

参加者からは、これからも定期的に検査を受けたいという声が聞かれました。



女川原発再稼働県民投票条例案 否決
それでも11万の声は消えない！

「条例案は否決されました」
あつけない幕切れでした。
2月21日、県議会の本会議が始まった日、170席の傍聴席だけでは入りきれず、ロビーのモニターの前にもたくさんの方が集まりました。県議会が始まって以来だったそうです。女川原発再稼働を問う県民投票条例案に関する質問に知事は「エネルギー政策、原発の再稼働は国策である」「県議会の議論に影響を及ぼす」と自分の意見は出さない姿勢。条例制定を求める11万の署名に対し「重く受け止める」と言いながらも、逃げているとしか思えない答弁を繰り返すだけ。採決前日の3月14日、参考人意見聴取の中で成蹊大法科大学院の武田真一郎教授は「国策と言うなら尚更、住民の意見を聞くべき。住民の意見を聞くことに何の損もない。聞かない理由はない」と語られました。県議会の出した答えは否決です。
今回の件は、私たちの知事や県議会に対する不信感を増大させるに十分でした。自公



多くの県民が関心を寄せ
県庁議会棟は人であふれた

議員が多数を占める県議会の中で「これは人権問題でもある。県民の命を守る義務がある」と戦ってくれた議員も数の力には勝てず。しかし、否決されても11万の署名が集まったという事実は消えないのです。今回の一連の活動は県民の関心を少なからず県議会に向けさせたはずで、県民の声を背に向けて、知事・県議会はこれらどこへ向かうのか注視していきたいと思います。みんなで決める会では「県民投票運動 報告会」(仮称)を、4月14日(日) 13時半、仙台弁護士会館4階で開催する予定です。
池田 朋子
脱原発エネルギーシフト委員長

まんま通信のあるくらし

純正菜種油の底力に感動！
「みんなであいまほん」菜種油編



揚げ方のレクチャーを受けます

泉B地区のあいごはんは平田産業さんの菜種油を使い調理実習しました。食育実践協会の皆さんのお話がとても勉強になりました。
純正菜種油はオーストラリア産の非遺伝子組み換え菜種を絞ったあと、お酢やお湯だけで洗う。だから化学溶剤を使わない安心な油。国産では手に入りにくいけれど、普段使いできる「ベター」な油だというお話に共感しました。
実は私も昨年からはじめたばかりで、揚げ物は安いサラダ油で2〜3回使ったら捨てていました。平田産業

1/29 (火) 泉B地区
企画報告

理事会議事録抄

さんの油を高価だと思つていましたが使ってみると何度も使え、油臭さが気にならないうい！安い油は真つ黒に酸化していたのが嘘のようでした。これからも純正菜種油を使っていきたいと思つています。
そして唐揚げは趙さんのタレを使う手軽さ！フライドポテトは少し皮が剥がれるまで蒸すとパリパリになつて美味！レシピはどれも簡単でも美味しくなるポイント色々。レンコン揚げも食べたのに胃もたれなしの大満足の満腹ごはんでした。
泉B地区委員 佐藤有子



カラリと揚がって胃もたれなし！

組織概要
(2019年2月分)

【組合員数】	13,207名
【供給高】	194,676千円
【一人実利用高】	5,299円/週
【出資金】	1,142,159千円

2019年3月5日(火)
▼2019年通常総代会へ至る日程の確認をした。2018年度活動・事業報告案の策定について協議した。▼2019年度活動・事業方針案策定について協議した。▼主要商品の値上げについて承認した。▼職員の人材育成を図る「コアサイクル活動」企画書を承認した。▼2019年度放射能自主測定計画を承認した。▼2019年度PB商品開発について検討した。▼「田んぼに行こう！」企画書を承認した。▼「七郷 無農薬田んぼにトライ！」「原木椎茸ツアー」企画書を承認した。▼ジョイケア拠出金で長寿祝いを新たに設けることを承認した。



●あいコープの職員さんはみな素敵だと思いました！勉強熱心な方が多い！

泉A地区組合員交流会参加者アンケート

TPP11、日米FTAで脅かされる食と暮らし
今こそ、生産者と消費者が手を組み
更に強固なネットワークを



講師：東京大学教授 鈴木宜弘氏

「規制改革、自由貿易の名目で、公共的、共助的なルールや組織を破壊し、命を守り、命を救うよりも日米オトモダチ企業の利益を増やそうとする動きが止まらない。」これは、2月22日に開催されたあいコープ共生会総会の基調講演で、講師の鈴木宜弘氏が提供してくださった資料の冒頭に書かれている一文です。

ご存知の通り、昨年末にTPP11が発効しました。アメリカは離脱しているものの、米国とはTAG(物品貿易協定)という、事実上FTA(自由貿易協定)という、事実上FTAを始めるようとしており、アメリカ主導、そしてごく一部の企業利

益のためだけの自由貿易が展開されることは明らかです。鈴木教授は特に食と農の危機を訴えておられ、直近の問題として酪農業界の崩壊を上げられました。市場開放に加え、酪農協弱体に向けた仕掛けにより、バター不足どころか国産牛乳が飲めなくなる日がくるかもしれない、というのです。

他にも問題は多岐にわたたり、政府の姿勢に対し、私たちにはおかしな正常バイアスが蔓延しかかかっている、日本に明るい未来はないと思う瞬間もあります。が、教授の力強い言葉『これらに対抗できるのはあいコープのような、生産者と消費者が直接繋がった関係を強固にすること、そしてその活動を拡大することです。共生会の皆さんは、自分達が国民の命を支えているのだ！と自信を持って今の安全な食品製造を続けてください』という言葉に希望を見出した講演会でした。

編集後記
県民投票条例が県議会で否決。あれこれ理由を付け、しかしその問題を解決して実施しようという姿勢は微塵もなく、ただ失望。再エネの普及に尽力もせずに「将来的に原発ゼロを目指す、原発に代わるエネルギーを県民に約束できていないのに原発をなくせない」とは、「痩せたら着る」「ダイエットは明日から」と言っているのと同じ。この11万の灯を消さず、秋の県議選では「痩せるために今日から走るぞ！」と言ってくれる、県民とともに走ってくれる議員を見極めたいですね。

理事 鈴木真奈美

私のオススメ

こんにちは!宮城野若林区配送担当の佐藤優大です!
今回私がオススメする商品は鎌田醤油さんのこだわりの万能つゆです!
この商品は組合員さんと何度も試食を繰り返して開発したので、味の方は折り紙付きです!同じ鎌田醤油さんの国産丸大豆醤油をベースにどんな料理にもコクと深い味わいを与えてくれます。煮物に使うもよし野菜炒めにかけても美味しいです私のイチオシの食べ方は卵かけご飯にたっぷりとかけて食べてみてください。コクと味わいをダイレクトに感じられ、いつもの卵かけご飯がランクアップします!
本当にどんな料理にも使えますので国産丸大豆醤油と合わせて是非ご家庭に1本!
事業部 宮城野若林配送担当職員 佐藤優大

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想
組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つぶやき』も大募集中!

ジョイケア利用状況 (2019年1月分)	
ささえあい(保障)	0件
たすけあい(ケア)	23件
集団託児	24件
慶弔・出産	14件
電話相談窓口	1件
計	62件
◆集団託児 利用延べ人数	59名
◆ケア時間	151.5時間

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ ☎ 022-284-7277 平日 9:00~17:00

- 4/9(火)・・・法律相談 弁護士 倉林千枝子氏
13:30~15:30
- 4/9(火)・・・年金相談 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30
- 4/16(火)・・・子ども相談 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00
- 1/16(火)・・・思春期相談 臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
9:30~11:30

今月より、法律相談の先生が変更になりました。

▼各相談窓口前週の日曜日まで予約して下さい。随時受け付け可能です。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ちよこ ちよこ ●ガノム編集された食べ物なんか絶対食べないもん!やだっ! 太白区 えみりいさん



社福祉法人みんなの輪
わ・は・わ大衡 大和田悠介施設長

「良いものである」を 大切にしたものづくりを



米粉の焼きどーナツ(上)と
もうすぐデビューの予定のフィンシエ(下)

社会福祉法人みんなの輪(2002年設立)が18番目に開所したのがわはわ大衡です。充実した焼き菓子製造設備を備えた「わはわ大衡」では、現在組合員と共にあいコープのPB(プライベートブランド)商品を目指して焼き菓子・フィンシエを開発中です。

宮城県大郷町産、減農薬減化学肥料で育てたお米の米粉焼きどーナツや米粉パン、小牛田の苺で作ったジャム、廃油を再利用した石けんの「さいかち」など、社会福祉法人みんなの輪で作っている商品はあいコープでも広く愛されています。そこにあるのは「福祉作業所の製品だから」選ばれるものではなく、「使ってみたら環境にも、人にも良いものだった」それが障害をお持ちの方の就労支援に繋がっている…という循環、「輪」への思いです。

新商品のフィンシエも、あいコープならではのおいしさと安全・安心を追求する思いと、それに応えて下さる「みんなの輪」の姿勢があつてこそ。もうすぐ皆さんの元へお届けできるわはわの新商品を、どうぞお楽しみに…!



組合員を交えてのスイーツ開発会議。



明るく清潔な屋内。
調理室の衛生管理も徹底。

わはわ大衡は、大衡村に初めての障害福祉サービス事業所として平成30年3月1日に開所致しました。わはわ味明で行ってありました焼き菓子製造の機能を移設し、宮城県産の米粉を主原料とした米粉の焼きどーナツを製造しており、組合員の皆様にも安心・安全な商品をお届けしております。また、焼き菓子製造だけではなく、各種軽作業を通した訓練等、契約されている方々の希望に沿った支援を提供できるよう心がけております。

わはわ大衡では、そのような作業活動、就労支援の他、ゆったりとご自身のペースで楽しく活動に取り組んで頂く生活介護事業、宿泊を通して自宅ではない所で過ごす練習をする短期入所事業などの事業も行っております。

開所後1年のまだまだ若い事業所です。利用している方々が、個々の目標に向かって楽しく活動できるようにサービスを提供していきたいと考えております。また、わはわ大衡が地域に根差し、障害のある方もない方も安心して暮らせる社会を目指し、地域における社会福祉法人の役割を担っていきたくと考えております。

Calendar*今後のイベント*

4/16(火) 4/25(木)
遺伝子組み換えナタネ調査
～仙台港・石巻港～

時間/ 仙台港 4/16 10:00~12:30
石巻港 4/25 10:00~12:00

4/21(日)
あいばらんど運動推進委員会
原木しいたけ見学ツアー

場所/ 登米市東和町芳賀さん栽培敷地内
仙台駅東口/8:50 参加費/大人 1500円・子供 1000円

4/20(土)
「畑に行こう」第一回目
オリエンテーション

内容/ じゃがいも種の植え付け
場所/ あいコープ日の出町センター集合
時間/ 10:00~12:00

4/25(木)
日の出さんさん発電所
お披露目&完成記念講演会
地産自立のエネルギーで目指す未来

場所/ エル・パーク仙台 5階 セミナー室
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

地区委員さん募集中!
一定例会見学も受付中~

地区委員会は

楽しい!
おいしい!
学べる!!

あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324

Email soshiki@mamma.coop
(担当: 組織運営室長 豊嶋)

